

令和6年度 島根県学力調査結果及び分析

松江市立法吉小学校

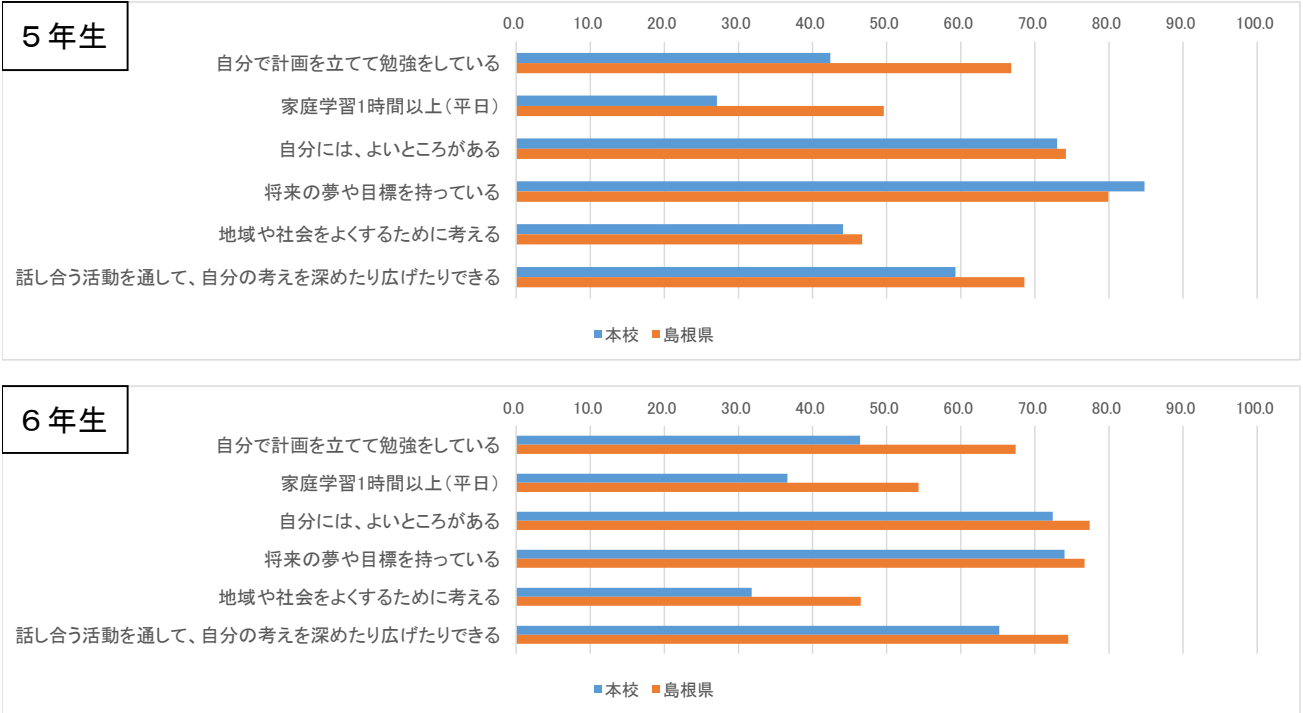
【1】「教科に関する調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
国語	○敬語や語句などの言葉についての理解は概ねできている。 ○物語では、描写を基に心情を捉えることができている。 ○説明文では、はじめ・中・終わりの文章の構成を捉えることができている。 ●送り仮名が必要な漢字の書き・読みの正答率が低い。 ●説明文では、限られた字数で文章から言葉を抜き出す問題に課題が見られる。 ●大問7の資料を基に自分の意見を書く問題は、文章の長さ・構成・事実・自分の意見の全てにおいて課題が見られる。	○情報をもとに、要約して表すことに成果が見られる。 ○日常で使う4年生の漢字は概ね理解できている。 ○言葉についての理解が深い。敬語、言葉の使い方など。 ●決められた条件の中で文章をまとめて書くことに課題が見られる。 ●説明文から大切な言葉を抜き出したり、情報を整理したりすることに課題が見られる。
算数	○小数のかけ算 小数点を移動する方法は概ね身に付いている。 ○図を基にして立式することができている。 ○「単位置あたりの大きさ」において、考え方を説明することができている。 ○複数の値から全体の平均を求めることができている。 ●公倍数・公約数を基にした問題、小数倍の立式、体積の問題の正答率が低い。 ●分配法則が身に付いていない。 ●例や図がない問題において、自ら考えて立式や説明する力が弱い	○変化と関係、データの活用は成果が見られる。 ○拡大縮図の基礎的な問題は正答率が高い。 ●図形は、全国平均よりも大きく下回っている。 ●思考を伴う問題の正答率が低い。

【2】「意識調査」結果から見られた成果と課題（○成果／●課題）

	5年生	6年生
意識	○「家の人と一緒にご飯を食べる」、「家の人に挨拶をする」という質問に肯定的に答えた児童が多く、家族との関わりがしっかりできている。 ○朝食・夕食がしっかりとれている。 ●学習に関する質問においては、肯定的に答える児童が少なく、自分から進んで学習する習慣が身に付いていない。 ●テレビでニュースを見ていると回答した児童は多い一方で、自分で時間を決めてテレビを見ていると答えた児童は少ない。メディアとの付き合い方に課題が見られる。	○ニュースや新聞・本から情報を得ようとしている。 ○生活リズムは整っている。 ●自分で計画を立てて勉強している児童が少ない。 ●予習・復習をしていない。課題以外の学習に向かえない傾向にある。

【3】「意識調査に関するデータ」（教育委員会として注目している項目のうち全国調査と同様の質問項目を挙げています）



【R6学力調査受検者数】

5年生

59

名

6年生

71

名

(欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は最少の受検者数をもって表示)